

	<h2 style="text-align: center;">大江戸線延伸の早期事業着手を東京都へ要請</h2>
<p>と き</p>	<p>8月29日（月）</p>
<p>と ころ</p>	<p>東京都庁</p>
<p>29日、練馬区、区議会、延伸地域の町会で組織する大江戸線延伸促進期成同盟（会長：練馬区長 前川耀男）と区内経済・産業団体、町会等で構成する大江戸線延伸推進会議（下記参照）は東京都庁を訪問し、大江戸線延伸の早期事業着手を求める要望書を提出した。事業化に向けた調査・手続に早急に着手することなど5項目を要望した。</p> <p>対応した黒沼副知事は、「令和4年度予算で、延伸に関する調査費を主要事業として計上している。関係部署間での実質的な検討など取り組みを進めていく。」と話した。</p>	



前川区長・黒沼副知事

**【要望書内容】**

別紙の通り

**【大江戸線延伸推進会議】**

これまで区・区議会・延伸地域の町会で組織する「大江戸線延伸促進期成同盟」が中心となり関係機関への要請活動、促進大会の開催、啓発活動等に取り組んできた。大江戸線の延伸は、区への経済効果も大きいことから、平成29年8月に大江戸線延伸促進期成同盟は区内経済・産業団体、町会等8つの団体と「大江戸線延伸推進会議」を設立し、大江戸線の延伸実現に向けて一丸となって活動を進めている。

**■構成団体（9団体）**

大江戸線延伸促進期成同盟、（一社）練馬産業連合会、東京商工会議所練馬支部、練馬区商店街連合会、（公社）練馬東法人会、（公社）練馬西法人会、東京あおば農業協同組合、練馬区町会連合会、光が丘地区連合協議会

**【これまでの状況】**

大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町間）については、平成28年の国の交通政策審議会の答申において、事業化に向けて検討などを進めるべき路線とされ、都の『未来の東京』戦略では、「関係者と事業化について協議・調整を進める」路線とし、国や都の計画において整備に向けて明確に位置付けられている。

都は令和4年度予算に「地下鉄12号線の延伸に関する調査」と明示した経費を主要事業として初めて計上した。

区においては、大江戸線延伸を見据え、延伸地域や新駅予定地周辺のまちづくりを進めるとともに、大江戸線延伸推進会議の活動、さらに大江戸線延伸推進基金を50億円積み立てるなど早期事業着手に向けて精力的に取り組んでいる。

**【問合せ】**

練馬区 大江戸線延伸推進課 大江戸線延伸推進担当係 電話 03-5984-1564